

平成 30 年度 大阪府立三島高等学校 第 1 回 学校運営協議会 議事録

1 実施日 平成 30 年 6 月 28 日(木) 13:20～15:20

2 委員・学校教職員

(1) 協議会委員

関西大学教授（協議会会長）
三島高等学校同窓会会長（欠席）
三島高等学校 PTA 会長
川西地区青少年健全育成協議会長
高槻市立第二中学校長
高槻市立郡家小学校長

(2) 学校教職員

校長、教頭、
首席・教務部長、首席・生徒指導部長、総務部長、進路指導部長、保健部長、
第 3 学年主任、第 2 学年主任(欠席)、第 1 学年主任
事務長

3 授業見学

- 1 年 化学基礎
- 2 年 数学Ⅱ
- 3 年 美術の探究

以上 3 つの授業の見学をした。

4 議題

- (1) 授業見学について
- (2) 学校の状況について
- (3) 平成 31 年度使用教科書選定について

5 委員からの指摘提言

(1) 授業見学について

- ・板書、発問に工夫されていて、いい授業であった。
- ・数学の授業では、自由に演習をしていて、友達と相談をしていた。
- ・生徒は自立している。学ぶ意欲がみられる。グループワークが高校で進められてい

る。

- ・生徒にうまく問いかけをしている。グループ学習で教えあいをしている。美術では暑さにもかかわらず頑張って作品に取り組んでいた。
- ・落ち着いた生徒が多い。(自分が高校時代での)数学ではグループ学習の形態の授業はなかった。美術の授業では暑い中でも生徒の集中力があつた。
- ・大学でもアクティブラーニングがキーワードになっていて、一方通行の講義ではなくできるだけ学生に考えさせる講義が求められる。高校の授業は参考になる。

(2) 学校の状況について

① 地震について(校長)

- ・まずは机の中に隠れる。登校してくる生徒はグラウンドへ誘導。校舎内の生徒も順次グラウンドに放送により誘導した。授業中に起こると想定している訓練は年 2 回行っている。
- ・教室の掛け時計が落下、蛍光灯が脱落した。
- ・生徒への人的被害なし。9:30 から順次下校させた。ただし公共交通機関が動いていなかったのので食堂で待機する生徒がいた。
- ・水道管が破断したため、授業再開ができなかった。金曜日(6月22日)に復旧した。本校では水道管の破損箇所がなかなか特定できず休校(5日間)が長引いた。
- ・本校を含め、エクスペンションが壊れた学校が多かった。
- ・ブロック塀等の改修については本庁にはお願いしている。

② 地震以外の学校の様子について(校長)

- ・体育祭について、雨で順延をしたが全種目実施できた。
- ・朝の10分間の学習総合基礎(「朝学」)について、今年度よりスタートし基礎的学力の向上に努めている。数学で早くも成果が上がっていると報告を受けている。
- ・新たな取り組みとして1年生対象の宿泊研修を5月の連休前に実施した。

③ 経営指標について(教頭より説明、委員による協議)

- ・進路指導部としては、AO入試や推薦入試で進路を早くに決める傾向があつたが、最後まで頑張る様指導している。
- ・部活動については9割近くが加入している。
- ・教育相談の件数については大きな変化はないが、今後スクールカウンセラーが必要とされている。
- ・PTA総会については、日程を考慮し、内容を充実させることにより出席者数が大きく伸びた。
- ・アンケートで進学理由、学校の雰囲気・体制の分析を行った。

(3) 委員からの意見・提言

- ・来年度 50 周年を迎えるので、PTA 総会に多くの PTA 会員に出席してもらいたい。
- ・保護者は学校の良い雰囲気や進学実績が伸びていることなどを評価している。今後
も進学実績を残してもらいたい。
- ・スクールカウンセラーについて大学でも支援が必要な学生がいる。小学校・中学校
でもスクールカウンセラーの配置はされている。生徒には相談をしやすい雰囲気を作
っていくべきである。
- ・小学校のクラブ交流において、保護者が憧れの学校となっている。これからも憧れ
の学校としてあってもらいたい。

(4) 平成 31 年度使用教科書選定について(教頭)

平成 31 年度使用教科書選定理由一覧表をもとに、選定の理由の説明をした。
実際にいくつかの見本としての教科書の閲覧をした。

6 その他

- ・今年度より一部規約が改正され、学校協議会から学校運営協議会となる。

7 事務連絡(教頭)

次回開催予定、第 2 回 平成 30 年 12 月頃、第 3 回平成 31 年 2 月頃を伝える。